

学習内容報告書 フォーマット

学校名	階上町立道仏小学校
授業者	橋本 圭太

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海と親しむ・海を知る（船釣り・サビキ釣り体験）

1-2. 学年

6年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

1 釣り体験事前指導	<ul style="list-style-type: none">・釣り竿の仕組みを知る。・仕掛け作りと竿の基本的な操作を知る。
2 釣り体験	<ul style="list-style-type: none">・餌の付け方や竿の動かし方を知る。・地域の方に教えていただきながら釣り体験をする。・漁港のマナーについて知り、実践する。
3 釣り体験のまとめ	<ul style="list-style-type: none">・生産者の苦労や工夫、努力を知る。・漁港の働きについて考える。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

水産物がどのように生産され自分たちのもたらされてくるのか、実際に釣りを体験することを通して生産者の工夫や努力、苦労について考え、自分たちの地域の財産である海の豊かさを感じ、水産資源を守っていかうとする心を育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

知識・技能	釣り体験を通して、釣りの仕掛けや竿の仕組み、基本的な釣り方などを理解することができる。
思考力・判断力・表現力	釣り体験を通して感じたことや分かったことを、水産業と関連させながら考えることができる。

1-7. 単元の展開（全5時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>釣り体験事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り竿に釣り糸を通し、仕掛けを作る。 ・釣り竿の扱い方を知り、練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・釣り糸の通し方、サビキ釣りのしかけについて坂下釣具店の坂下さんから指導を受ける。 ・リールの巻き方などの基本操作を説明し、実践させる。 <p><外部連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂下釣具店 坂下さん
2 ～ 4	<p>釣り体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・餌の付け方を知る。 ・水中での竿の動かし方を知る。 ・漁港での釣りのマナーを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・餌の付け方、竿の動かし方について地域の方に説明してもらう。 ・どうしたら魚が釣れるか工夫を考えさせる。 ・ごみの持ち帰りや後始末など、釣り場のマナーを指導する。
5	<p>釣り体験振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り体験の楽しさと難しさを振り返り、生産者の工夫や努力について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の水産業の学習と関連させる。 ・船釣りで簡単につれなかったことや、サビキ釣りでは同じ種類の魚だけがたくさん釣れたことと関連づけて生産者の工夫や努力を考えさせる。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

船釣りとサビキ釣りに分かれて、それぞれの方法で釣り体験を行うことで、海に携わる仕事をしている人々の仕事を理解したり、自分たちの地域のよさに気付いたりすることで、ふるさとを大切に思う心情をもつことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 バスにて活動場所へ移動。 ・船釣りチーム 追越漁港 ・サビキ釣りチーム 小舟渡漁港	
2 諸注意 ・船釣りチーム 坂下さんから ・サビキ釣りチーム 教頭先生から	・ライフジャケットの着用。 ・船酔いしたときの約束 ・釣り竿の扱い方の再確認
3 釣り体験 ・釣り方、釣れた魚の外し方、えさの付け方を学ぶ ・釣れた魚の名前を知る	・船釣りチームは2艇に分かれて乗船する。
4 帰校 ・それぞれの場所でお世話になって地域の方へお礼の言葉を伝える。 ・バスにて戻る。	
5 後始末 ・ライフジャケットを水洗いする ・釣り竿から仕掛けを外し、水洗いする	・次に使う人のことを考え、ていねいに水洗いと乾燥をすることを指導する、

3. 今回の活動の自己評価

- ・天候とよい潮の流れに恵まれ、船釣りもサビキ釣りも順調に活動することができたので、子どもたちが満足感を得ることができた。
- ・船釣りではカレイが釣れ、サビキ釣りではイワシが大量に釣れた。サビキ釣りの児童は最初釣れた魚を手で触ることができなかったが、次第に自然と手づかみで針を外せるようになるという成長ぶりだった。
- ・船釣りではカレイのみ、サビキ釣りではイワシのみの釣果であったことが、生産者の工夫や努力につなげるきっかけとなった。

4. 今後の課題

- ・学区に海があるとはいえ、バスでの移動と活動時間の確保を考えると、十分に天気や潮の流れを調べて活動の計画を立てる必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。